

# あ お ば

No.82

令和3年12月24日発行  
青葉中学校区青少年健全育成推進会事務局  
札幌市立青葉中学校 011-891-4351

## 得るべきもの

青葉中学校 生徒指導部 岡部 史郎

過日、新札幌わかば小との合同研修会を行った際に、小学校における行事の実施状況についての質問がでていました。昨年度の実施状況はともかく、今年度については形を変えながら、できる範囲を探りながら奮闘しつつ実施している様子が報告されていました。

小学校から中学校への進学の際に、個人として、また集団としてどのくらいの力を身につけているのかというのは、中学校側の私達にとって大変興味深いところです。昨今の情勢下においては、「学校」という場で行われてきた「教育活動」としての「行事」が思うように実施できなく、本来は身につけていたであろう各生徒・集団の力を育成する機会を失いつつあります。主体的な思考や実践力の育成、協働意識の醸成といったものは教科教育の中よりも、こういった「行事」の中でより育まれていくものであることを、私達教員は経験則で知っています。今後の情勢がどういった形になるかは、まだ未知数であり、これまでと同じような「教育活動」が可能かどうかとも判断が難しいところです。しかし「得ることができたであろう力」を「小学校」の中だけでなく、「中学校」での生活や教育活動を通して改めて獲得していけるよう、小学校と中学校の連携を密にすることと同時に、中学校側の考え方を柔軟にしていく必要があると感じています。

幸いにして本校は小規模校であり、教員側が全ての生徒を見守り、援助していくことが可能な学校です。15の春をどのような形で迎えるか、またどのような力を身に付けさせたいか、そのための教育活動とは何かを、小学校から中学校を通して考えていく必要性を感じる機会となりました。

## 豊かな心をはぐくむために～地域開放図書館と協力して～

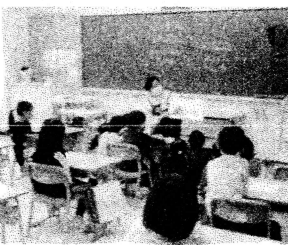
共栄小学校 教務主任 渡部 まどか

本校では、子どもたちに本を読む楽しさを味わってほしいと考え、地域開放図書館の図書館司書やボランティアの方の力を借りながら、読書活動の推進を行っています。約13000冊ある図書館は、子どもたちが本を読みたくなるような工夫が随所にあります。明るく、整理整頓された館内は、居心地の良い場所となり、いつも子どもたちで溢れています。



人気の本だけでなく、様々なジャンルの本を読んでほしいと考え、本のピックアップコーナーは、行事や季節、イベント等に合わせて紹介する本を変えています。同様に、季節ごとに変わる館内装飾も、子どもたちの楽しみの一つです。また、開放図書館司書に本の題名を伝えると、すぐに本を探してくれます。「動物が出てくる本」「ノンフィクションの本」など子どもが興味のある分野を伝えるだけで数種類の本を紹介してくれます。図書館に来ることが子どもたちにとって楽しみの一つになっています。

月に1回開放図書ボランティアの方の協力を得て全学級に「よみっこタイム」と称し本の読み聞かせを行っています。読み聞かせで取り上げた本や紹介された本は、子どもたちも興味をもってすぐに読みたくなり、図書館に借りに来ます。また、春と冬に中休みを利用して、お楽しみ会を開催しています。大型紙芝居などの読み聞かせがメインとなっています。低学年を中心にたくさん子どもたちが本の世界に浸ります。更に、年に1回、学年ごと、お話を開催しています。素話や大型絵本、ブラックライトシアター、人形劇など、年によって内容を変えて1時間、子どもたちは楽しい時間を過ごします。読み聞かせの取組は、本の楽しさを実感する機会です。



日常の取組として、子どもたちの読書の推進のため、火曜日と木曜日には、朝の読書の時間を設定しています。子どもたちは、自分の好きな本や読んでみたい本を10分間集中して読むことで本の楽しさに浸っています。

このように本校では、子どもたちが主体的に本を読んで、想像力を膨らませ豊かな心をはぐくんでいます。

## 「一致団結～仲間とともにステージへ～」

新札幌わかば小学校 教諭 伊藤 多喜子

「一致団結～仲間とともにステージへ～」これは、子どもたちが考えた『わかばライブ』の児童会テーマです。昨年度は、コロナ禍で開催を断念しましたが、開校2年目の今年、念願の初ライブに漕ぎつけることができました。

『わかばライブ』は、子どもたちが体育館で日常の学習成果を発表し合う場です。その取組を通して、一人一人が生き生きと表現する力を身に付けるとともに、子どもたちの自主的、協力的な態度を育み、集団への所属感、連帯感を高めることをねらいとしています。

発表には、感染予防の観点から様々な制約がありましたが、器楽あり、ダンスあり、声優と俳優に分かれた劇ありと、どの学年学級も工夫溢れるステージとなりました。

児童公開日は、グループ学年のみがライブで、他学年はテレビで鑑賞しました。鑑賞後、子どもたちはカードを贈り合いました。その一部を紹介します。

### ☆1年生のみなさんへ

『四つのいろのうた』上手だったよ。こえもしっかりきこえて、すごかったよ!

「みんなちがってみんないい」が心にのこったよ。ありがとう。

### ☆3年生のみなさんへ

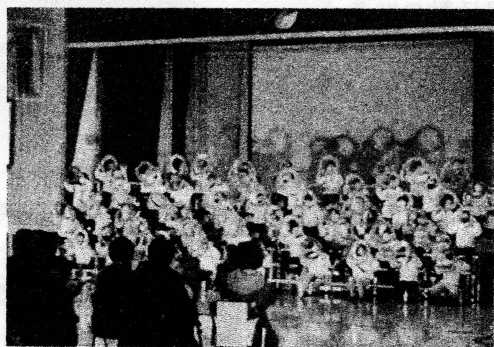
エンジン全開～みんなの心を一つに～というのがとっても3年生にあっていて、一つ一つの発表が元気いっぱい、見ていてとても楽しい気持ちになりました。

### ☆6ねんせいのみなさんへ

はたらくさいぼうがすごくわかりやすかったです。

いしょうと小どうぐをじぶんたちでつくってすばらしいです。

さすが6ねんせい。



廊下に掲示されたカードの前には、大勢の子どもたちの姿が見られました。自分たちの頑張りを認める言葉に笑顔の輪が広がっていました。

『わかばライブ』の取組を通して、互いのよさを認め合う雰囲気広がりました。今後も、行事や毎日の学習を通して、子どもたち一人一人のよさを発揮し、達成感、成就感を味わうことができるように、支援していきたいと考えています。

## 事務局より～交通安全指導について～

今学期は、青葉中学校区ならびに周辺区域での児童生徒の関係する交通事故が多く発生いたしました。事例としては、厚別区内中学生が車両と接触する事故が報道されたのを筆頭に、大事には至らなかったものの複数件の交通事故が報告されています。

冬休みを迎え、気温の低下に伴う路面凍結や路肩の雪山からの飛び出し、薄暮時間帯の道路の横断など、登下校時・または外出時の行動に関して、改めて注意が必要となる季節です。ご家庭でも注意喚起と指導をお願いいたします。